



2024年5月期 第2四半期決算説明資料
(2023年6月1日～2023年11月30日)

2024年1月11日
小津産業株式会社
証券コード7487



1. 2024年5月期 第2四半期決算概要

2

2. 2024年5月期 業績見通し

6

3. 各事業分野の主要動向

10

4. 参考資料

21



1. 2024年5月期 第2四半期決算概要



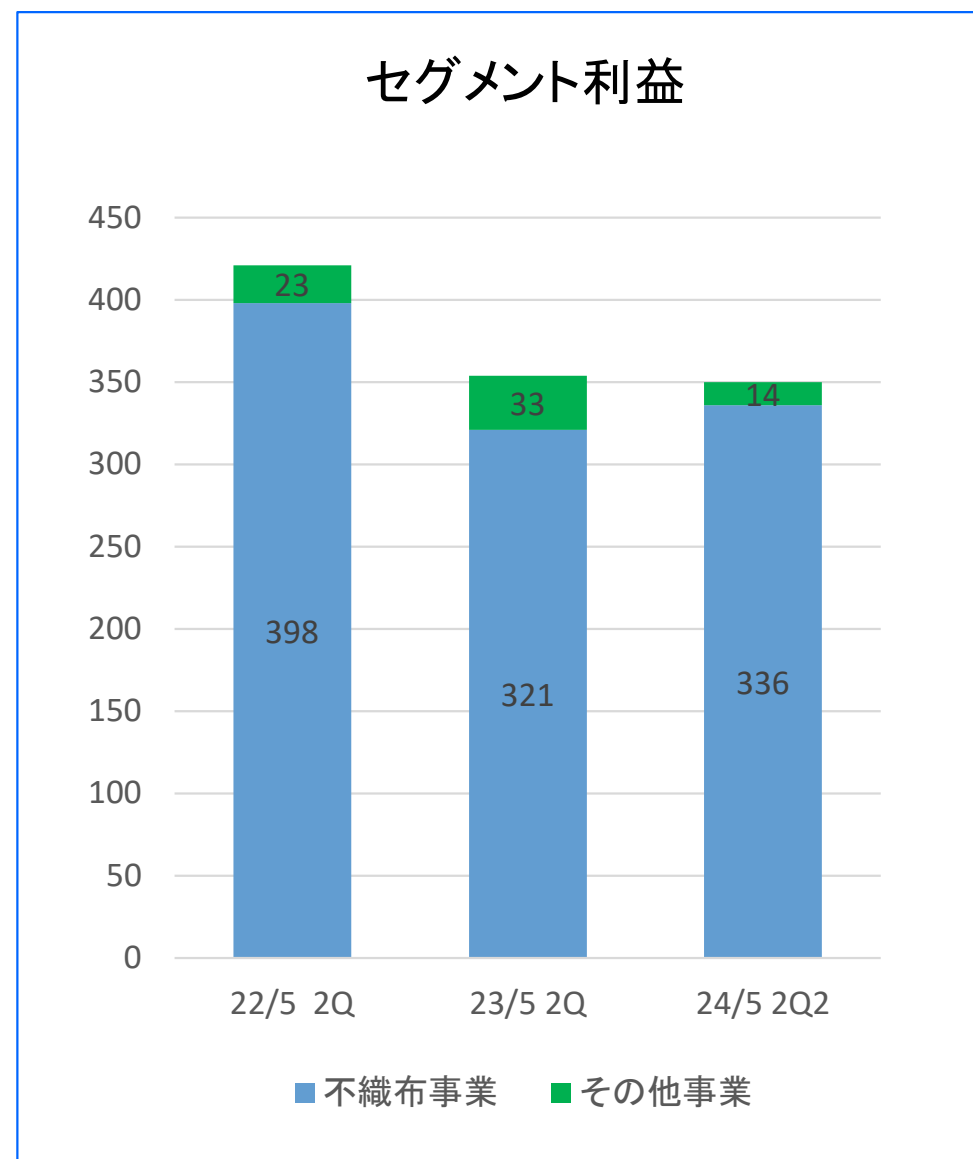
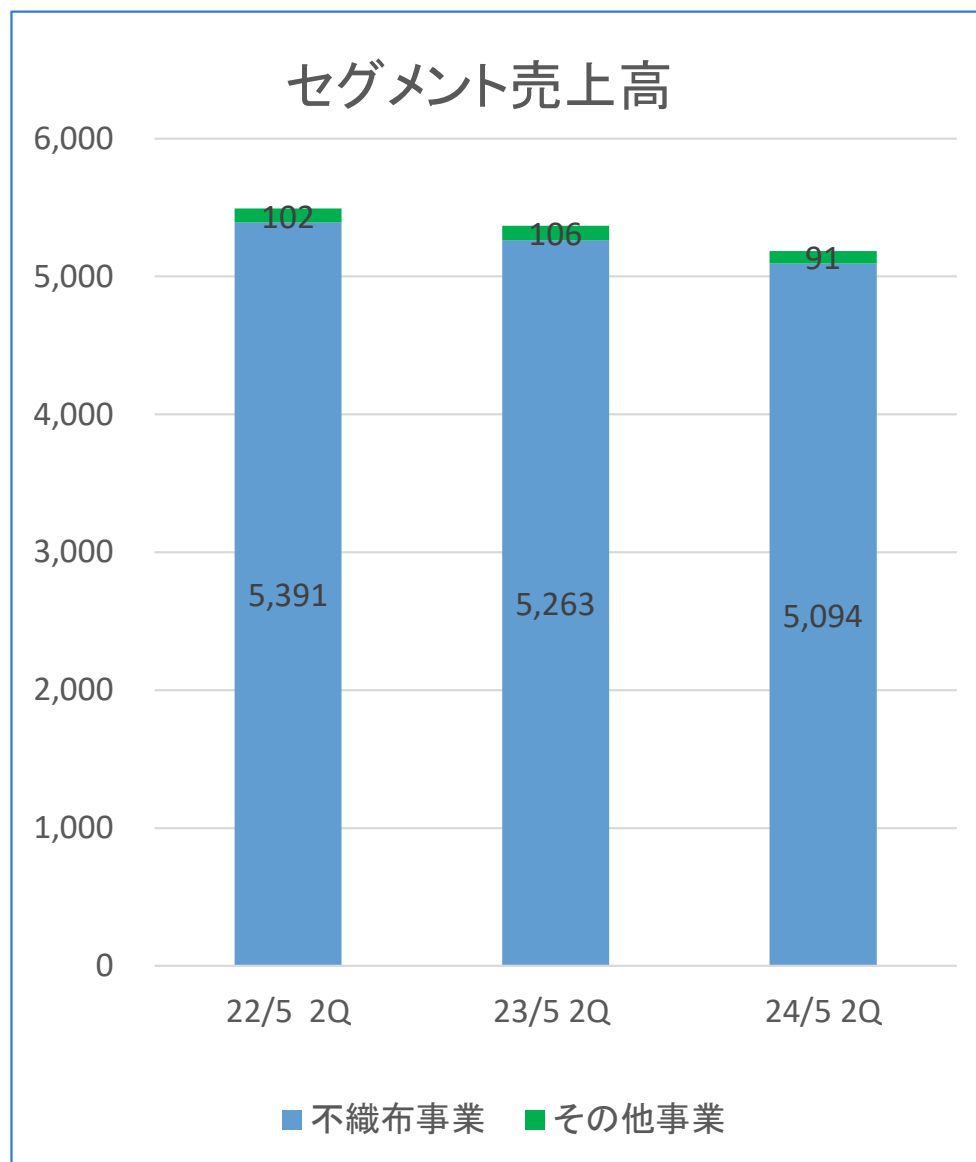
業績のポイント

- 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴う感染対策製品の需要減や東アジアのコスメ市場の変化等の影響を受け、前年同期比減収となった。
- 収益性の高い製品の販売に注力、売上総利益率は向上。販管費の下振れにより利益面は前年同期比並の水準を確保。

(百万円)	23/5期		24/5期		前年同期比
	2Q実績	構成比	2Q実績	構成比	増減額
売上高	5,370	100.0%	5,186	100.0%	△184
売上総利益	1,694	31.1%	1,668	32.1%	△26
販売費及び一般管理費	1,339	24.9%	1,316	25.3%	△22
営業利益	355	6.6%	351	6.8%	△3
経常利益	433	8.1%	438	8.4%	5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	305	5.7%	313	6.0%	8

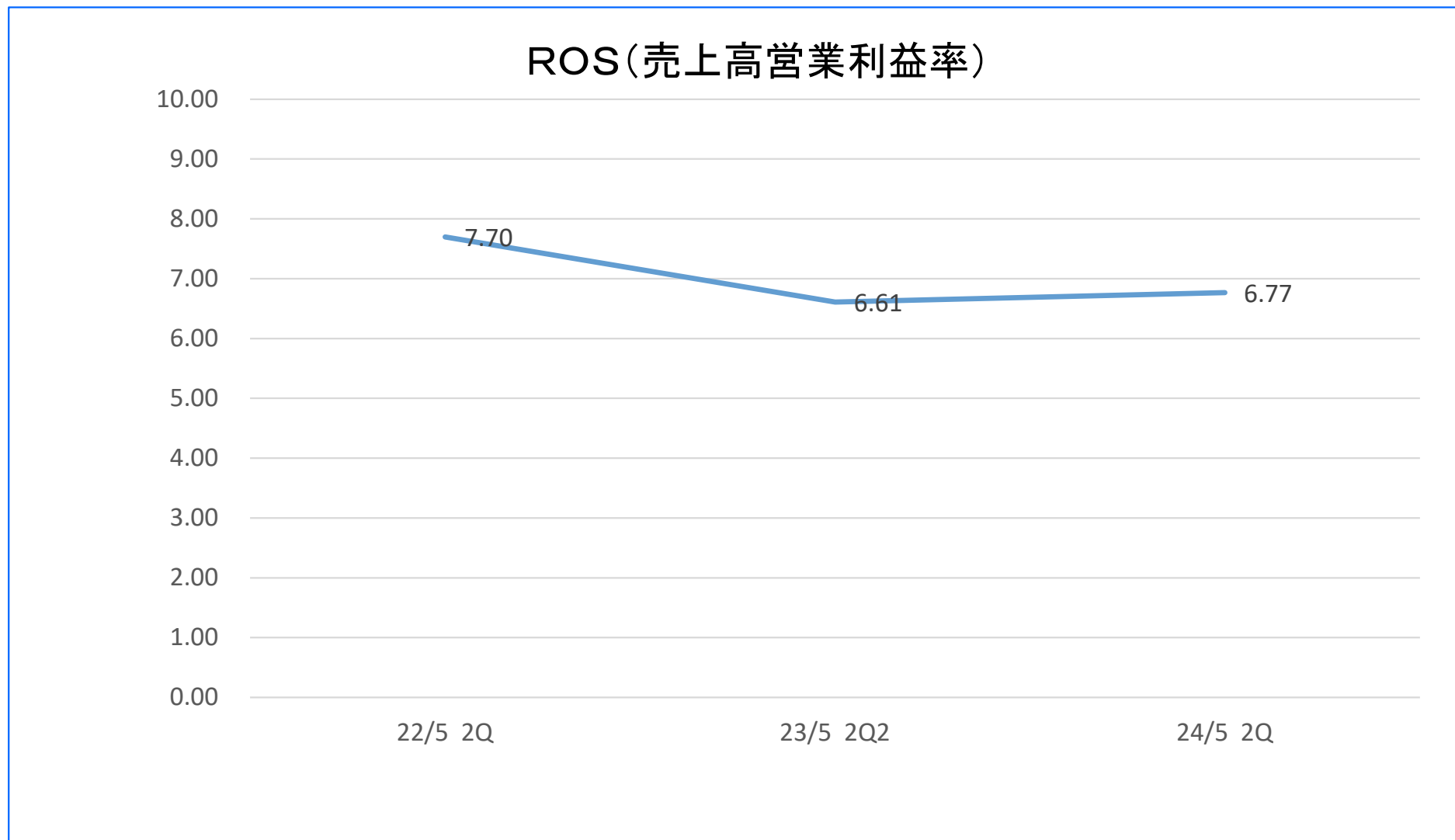


不織布事業+その他事業の業績推移





経営指標の推移



■ 収益力の一層の強化により、ROSの向上を目指す。



2. 2024年5月期 業績見通し



業績予想概略

感染対策製品の需要減や東アジアのコスメ市場の変化等により減収の見込み。収益性の高い製品の販売および、メリハリの利いた経費使用により営業利益は2023年5月期水準を確保の見込み。

売上高: 10,000百万円 前期比▲368百万円

■ 収益性の高い製品の販売に注力。営業力強化により、販売機会の捕捉等を推進。

営業利益: 470百万円 前期比+12百万円

■ 収益性の高い製品販売により前期比増予想。営業力強化等に予算充当。戦略性を優先した予算運営を実施。

販売費及び一般管理費: 前期比+112百万円

(百万円)	23/5期		24/5期		前期比
	実績	構成比	予想	構成比	増減額
売上高	10,368	100.0%	10,000	100.0%	△368
営業利益	458	4.4%	470	4.7%	12
経常利益	590	5.6%	550	5.5%	△40
親会社株主に 帰属する当期 純利益	383	3.7%	380	3.8%	△3

2024年5月期 連結業績進捗状況



(百万円)	業績予想	2Q実績	進捗率
売上高	10,000	5,186	51.8%
営業利益	470	351	74.6%
経常利益	550	438	79.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	380	313	82.3%

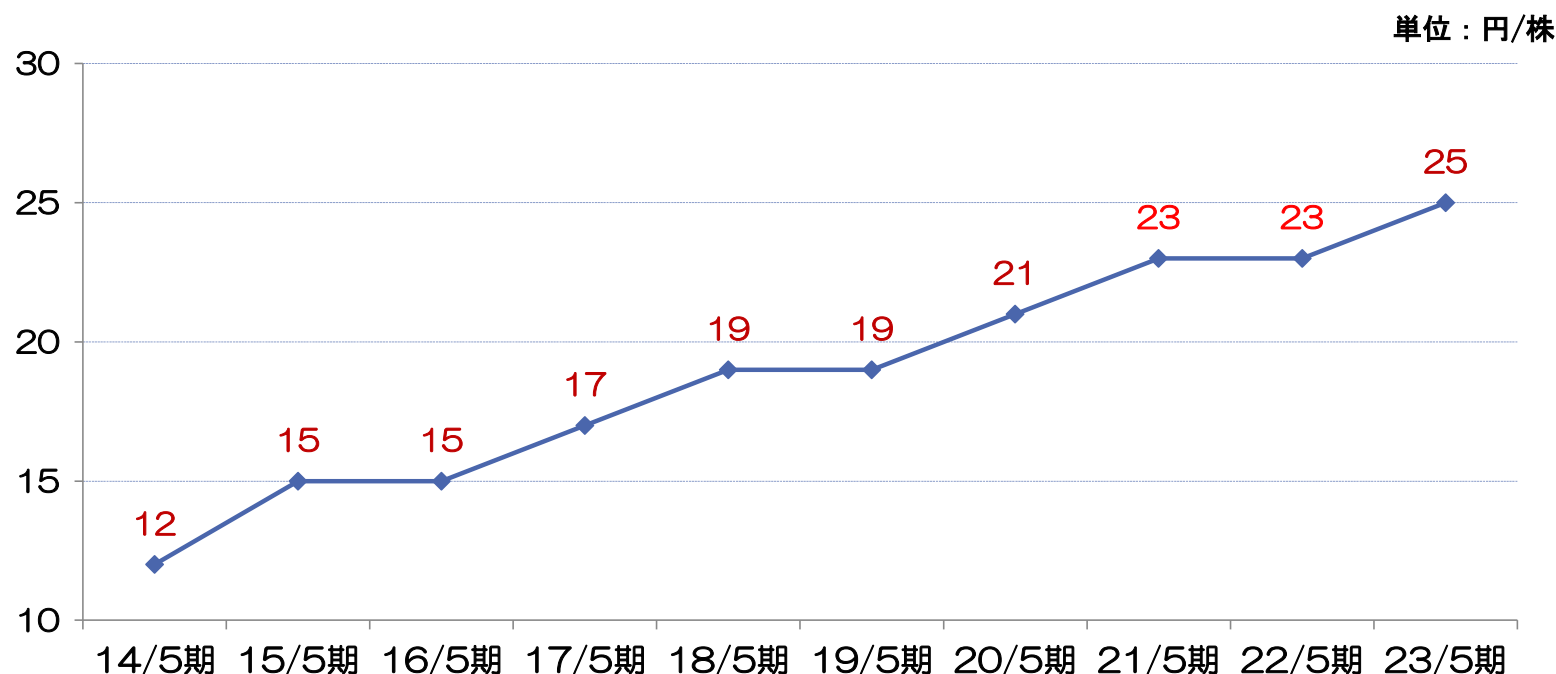
株主還元方針

株主さまに対して、長期的に安定した利益還元を行うことを基本方針としつつ、合わせて当社グループの企業体質の強化と将来の事業展開に備えた内部留保の確保を総合的に勘案し、株主還元を行います。

加えて、株主さまへの利益還元を充実するため、業績に多大な影響を与える事象の発生がないかぎり減配は行わず、増配を目指して業績向上に努めます。

現時点においては、2023年5月期と同様の、一株あたり25円の配当を予定しております。

【配当金推移】





3. 各事業分野の主要動向



中期経営計画2024 : Leap into the Innovation

「紙と不織布」の技術力を基盤とした「価値創造企業」へ

取組み骨子

■ 売上増強への取組み

重点販売製品(ディプロ製品、過酢酸製剤)の拡販推進。
電力会社等への提案活動継続と用途開発推進による除染布販売。
得意先とのコミュニケーションの一層の強化。
⇒的確な販売機会の捕捉。ニーズ対応による製品ラインナップの拡充(ものづくり)。

■ 外部環境変化への迅速な対応

原材料価格の高止まり等が継続。
⇒迅速かつ的確な対応を引続き実施し、収益を確保。

■ 海外展開の再構築

販売・製造・購買の機能拡充を目的に、海外販売拠点、海外加工場の再構築検討に着手。



不織布事業(分野)	事業の概要
エレクトロニクス分野	半導体、電子部品、航空宇宙、製薬、食品工場等の製造現場で使用される不織布ワイパーの販売および企画。
メディカル分野	病院・介護施設で使用される不織布ガーゼ・マスク、除菌ウェットシート、感染対策製品等を販売。
コスメティック分野	国内外の大手化粧品メーカーのお客様ブランドの商品を製造販売。機能性・安全性・エコを兼ね備える素材を日本やアジア地域で販売。
除染関連分野	放射性セシウム吸着シート「五大力」。 電力会社に安全対策用途で販売。
小津(上海)貿易有限公司	中国における販売・購買の拠点。 中国にてエレクトロニクス分野等の製品を販売。
ディプロ	小津グループの製造拠点。 陽圧管理により、化粧品や医薬部外品等の高付加価値製品をクリーンな環境で生産。
日本プラントシーダー	野菜の種子をテープ状の水溶性フィルムや生分解不織布に封入し専用機械で播種する「シーダー農法」普及を推進。
その他事業	事業の概要
除菌関連事業 (エンビロテックジャパン)	食品添加物として過酢酸製剤を販売(米国FDA認証、2016年厚労省認可)。 食品工場向けサニテーション用途中心に拡販。
不動産賃貸業	不動産賃貸事業を営む。

事業の概要

半導体、電子部品、航空宇宙、製薬、食品工場等の製造現場で使用される不織布ワイパーの販売および企画。

売上構成比率 約35% ※連結 2024年5月期業績予想ベース。

第2四半期までの実績

- ・ 中国の工場稼働率低下、通信機器関連の需要低迷の影響あるも、自動車関連の需要復調、食品分野等での拡販により、前年同期比売上高は微減、利益面は減少。
- ・ 海外拠点の再構築の一環としてシンガポール支店を閉鎖。

今後の取り組み

- ・ リチウムイオン電池、全固体電池メーカーへのアプローチ強化。
- ・ 食品分野でのシェア拡大に注力。
- ・ 東南アジア（特にベトナム）での拡販を目指し営業を強化。
- ・ 東南アジアでの販売拠点の再開設を目指し検討を加速。

【取扱製品例】

「ダスパー®」



「ベンコット®」



※「ベンコット®」は旭化成の登録商標です。

事業の概要

病院・介護施設で使用される不織布ガーゼ・マスク、除菌ウェットシート、感染対策製品等を販売。

売上構成比率

約20% ※連結 2024年5月期業績予想ベース

第2四半期までの実績

- ・得意先のニーズに合致した新製品の開発や新規販路の拡大を進めるものの、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、感染対策の衛生材料、マスク需要が減少。
- ・前年同期比売上高、利益面とも減少。

今後の取り組み

- ・肌理細かいニーズ対応をベースとした製品開発による売上増強と新規顧客の開拓推進。
- ・「エコ」「肌にやさしい」等、商品差別化によるマスク販路の拡大。

【取扱製品例】

「ZEST N95マスク」



「ドレープ」



「ロールシート(防水シート)」



事業の概要

国内外の大手化粧品メーカーのお客様ブランドの商品を製造販売。
機能性・安全性・エコを兼ね備える素材を日本やアジア地域で販売。

売上構成比率

約10% ※連結 2024年5月期業績予想ベース

第2四半期までの実績

- ・ 東アジア市場向け販売は市場の変更等の影響から低調推移するも、国内販売が堅調推移。
- ・ 売上高は前年同期比減少するも、利益面は横ばい。

今後の取り組み

- ・ ディプロの製造機能も活用。新製品の創造を加速し、新規顧客を開拓。売上高の増強を図る。
- ・ 中国での拡販、韓国コスメの情報収集強化と取込み推進。

【取扱製品例】

「あぶらとり紙」



「セルセル®(コットンパフ)」



「酒粕マスク(フェイスマスク)」



事業の概要

放射性セシウム吸着シート「五大力」。
電力会社に安全対策用途で販売。

売上構成比率 次の導入に向けた準備期間

第2四半期までの実績

- ・ 今期の採用実績少なく、前年同期比売上高、利益面とも減少。

今後の取り組み

- ・ 導入に向けた準備期間。
- ・ 採用実績を積むため、電力会社等への提案活動の強化継続。
- ・ 産学連携による用途開発の推進。

【取扱製品例】

「五大力」



東京大学 生産技術研究所HP より引用
<https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/ja/industry/collaborate/>

東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO

小津産業株式会社

平成24年11月21日

報道関係者 各位

東京大学生産技術研究所
小津産業株式会社

東京大学生産技術研究所共同記者会見開催のお知らせ
「低コストな除染材の大量供給が可能に」
ー放射性セシウム除染布、量産工程を確立ー

1. 発表日時：
平成24年11月27日（火）15:00～16:00（受付開始 14:30）

2. 発表場所：
東京大学生産技術研究所 総合研究実験棟 An 棟 3F 大会議室（An301、302）
〒153-8505 目黒区駒場 4-6-1 駒場リサーチキャンパス
<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/access.html>（参照）



事業の概要

中国における販売・購買の拠点。
中国にてエレクトロニクス分野、コスメティック分野等の製品を販売。

売上構成比率

約5% ※連結 2024年5月期業績予想ベース

第2四半期までの実績



今後の取り組み

- ・コスメティック分野において販売が減少したことおよび、中国の工場稼働率の低下の影響を受け、前年同期比売上高、利益面とも減少。

- ・代理店政策の強化による新規商材販売先の開拓。
- ・製薬分野の新規開拓の推進。
- ・小津グループの購買拠点としての機能強化推進。

事業の概要

小津グループの製造拠点。
陽圧管理により、化粧品や医薬部外品等の高付加価値製品をクリーンな環境で生産。

売上構成比率

約15% ※連結 2024年5月期業績予想ベース

第2四半期までの実績

- ・ 原材料価格等の高止まりへの対応を実施。
- ・ 前年同期比売上高は横ばい、利益面は改善。

今後の取り組み

- ・ 原材料価格の高止まりへの対応継続。
- ・ 独自ブランド製品「ケアウィル」拡販。
- ・ 高機能製品（機能薬剤・コスメ等）の開発推進。生産効率の一層の向上。

【取扱製品例等】



「高濃度除菌ウエットシート」



「ケアウィル®(除菌ウエットシート)」



事業の概要

野菜の種子をテープ状の水溶性フィルムや生分解不織布に封入し専用機械で播種する「シーダー農法」普及を推進。

売上構成比率

約10% ※連結 2024年5月期業績予想ベース

第2四半期までの実績

- ・ 国内販売の減速および、海外販売が伸び悩み、前年同期比、売上高は減少、利益面は横ばい。

今後の取り組み

- ・ シーダー農法対象作物の拡大と拡販。
- ・ 新たなシーダーマシンの開発推進。

【取扱製品例等】

「あけマルくん®(シーダーマシン)」



「シーダーテープ」



「東北営業所」



事業の概要

食品添加物として過酢酸製剤を販売（米国FDA認証、2016年厚労省認可）。食品工場向けサニテーション用途中心に拡販。

売上構成比率

少額 拡販のための取組み強化 ※連結 2024年5月期業績予想ベース

第2四半期までの実績

- ・ 過酢酸製剤の認知度・効用の浸透に伴い、新規採用先が増加。
- ・ 前年同期比売上高、利益面とも増加。

今後の取組み

- ・ 小津グループでの販促活動の強化および、代理店政策の強化による売上高の増強。
- ・ 過酢酸製剤の認知度向上のための啓蒙活動の継続・強化。

【取扱製品例等】



※過酢酸製剤噴霧使用例



※泡除菌剤パーサンフォーム使用例

「パーサン®(過酢酸製剤)」





3. 參考資料

2024年5月期 第2四半期連結貸借対照表



(百万円)	23/5期 5月末	24/5期 11月末	増減額
流動資産	12,586	12,999	413
固定資産	12,043	12,099	56
総資産	24,630	25,098	468
流動負債	3,573	3,722	148
固定負債	3,035	3,096	60
負債合計	6,609	6,818	209
純資産	18,020	18,280	259
自己資本 比率	73.1%	72.8%	△0.3%

主な増減要因

■ 資産	
受取手形及び売掛金	+380
投資有価証券	+203
■ 負債	
支払手形及び買掛金	+116
繰延税金負債	+57
■ 純資産	
その他有価証券評価差額金	+135
利益剰余金	+103



(百万円)	23/5期 2Q	24/5期 2Q	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	421	188	△232
投資活動による キャッシュ・フロー	△100	△59	40
財務活動による キャッシュ・フロー	△192	△209	△16
現金及び現金同 等物に係る換算 差額	11	16	4
現金及び現金同 等物の増減額	140	△64	△204
現金及び現金同 等物の期首残高	7,073	7,483	410
現金及び現金同 等物の四半期末 残高	7,213	7,419	205

キャッシュ・フローの状況

■ 営業キャッシュ・フロー

(2024年5月期第2Qの獲得)

税金等調整前四半期純利益	+438
減価償却費	+175
仕入債務の増減額	+116
売上債権の増減額	△524

※第2四半期末にかけて売上高が増加したため、売上債権が増加いたしました。

■ 投資キャッシュ・フロー

(2024年5月期第2Qの支出)

有形固定資産の取得による支出	△54
----------------	-----

■ 財務キャッシュ・フロー

(2024年5月期第2Qの支出)

配当金の支払額	△290
---------	------

- 1653年(承応2年)創業の和紙問屋を起源とする「紙と不織布」の製造商社。
- 現在では、エレクトロニクス・クリーン分野、メディカル分野、コスメティック分野、コンシューマー分野などを展開。
- 機能性不織布製品の企画開発から製造・販売までをメインとした幅広いサービスを提供。

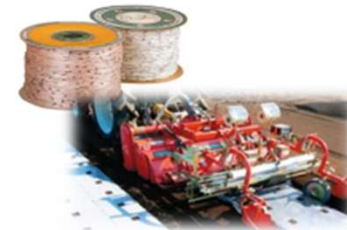
過酢酸系の除菌剤販売
(除菌・殺菌)



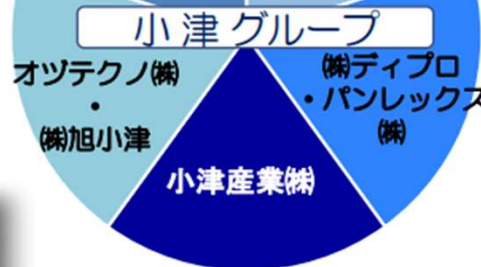
ENVIROTECH

エンビロテック
ジャパン(株)

アグリ分野
(シーダテープ製造販売)



日本プラント
シーダー(株)



不織布、紙製品の加工

不織布、
紙製品の販売



消毒・除菌WET、
フェイシャルシート等の製造販売



小津産業会社概要



会社名	小津産業株式会社
本社所在地	東京都中央区日本橋本町3-6-2
創業	1653年(承応2年)
設立	1939年(昭和14年)12月6日
資本金	13億2,221万円
証券コード	東証スタンダード 市場 7487
事業内容	不織布(エレクトロニクス用、メディカル用 コスメティック用、産業資材用) 洋紙・紙製品等の 国内販売・加工、輸出入
従業員数	連結:259名 単体:97名(2023年5月31日現在)

役員等

代表取締役社長兼会長 兼社長執行役員	今枝 英治
代表取締役副社長執行役員	河田 邦雄
取締役 兼 上席執行役員	村尾 茂
取締役 兼 上席執行役員	三崎 剛志
社外取締役	穴田 信次
社外取締役	山下 俊史
社外取締役	阿部 光伸
常勤監査役	近藤 聡
監査役	稲葉 敏和
社外監査役	深山 徹
社外監査役	山本 千鶴子
執行役員	立野 智之
執行役員	柴崎 治

関係会社

連結子会社	オヅテクノ(株) 日本プラントシーダー(株) (株)ディプロ 小津(上海)貿易有限公司 エンビロテックジャパン(株) アズフィット(株) (株)旭小津
持分法適用関係会社	



本資料に関するお問い合わせ

小津産業株式会社 経営企画室

Email : soumu@ozu.co.jp

<https://www.ozu.co.jp/>

本資料の取り扱いについて

- ・本書には、当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- ・別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- ・当社グループは、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ・当社グループ以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。